

保土ヶ谷保育園

2018年度

月間指導計画 (8月)

0歳児 ひよこ組

園長印



担任印



ねらい	・体調に配慮しながら健康に過ごす。 ・体の動きや表情、発声により、保育者と気持ちを通わせようとする。 ・水に触れて感触を味わい、積極的に水遊びを楽しむ。	行事	健康診断 避難訓練 夏祭り	長時間 保育	水分補給に努め、ゆっくりと過ごせるようにする。	家庭 連携	・当日の体調を伝えてもらい、その日の遊びの内容を配慮する。 ・子どもの発した言葉を保護者に伝え、成長を感じられるようにする。	自己 評価	・子どもの体調不良や、感染する疑いがある症状が出た時などは、水遊びをやめる判断をし、悪化を防ぐことができた。 ・室内遊びが多くなったので、新しい絵本やCD、遊びを用意したり、出席人数が少ない日は、異年齢児と交流するなど工夫し楽しめることができた。
今月の内容(養護・教育)		環境構成			配慮事項			取り組みの状況と保育士の振り返り	
・休息や水分補給を十分に行い、暑い夏を健康に過ごせるようにする。 ・伝えたい気持ちを受け止めてもらい、保育者とのやり取りを楽しむ。 ・水面を叩いたり、流れる水に触れたりして水遊びを楽しむ。 ・手づかみや保育者に介助されながら、最後まで食べる。		・水遊び後、スムーズに着替えや水分補給ができるように、そばに用意しておく。 ・子どもが何か伝えようとしている時は、優しい眼差しと理解しようとしている保育者の姿を示す。 ・水遊びが十分に楽しめるよう、玩具の種類を増やす。			・水分補給をこまめに行い、室内温度を一定に保つなど、快適に過ごせるようにする。 ・子どもの伝えたい気持ちを受け止め、更に伝えたい雰囲気をつくる。 ・水遊びの際は、転倒、水の温度に留意する。 ・手づかみで食べている時は、口に入れすぎないように見守る。形状や固さを調理員と連携を図り、様々な食材が食べられるようにする。			・室温調整が難しく、大人の適温だと、子どもの体温が上がってしまった為、温度計で確認しながら冷房を微調整し室温を一定に保つようにした。 ・時々、指導的な言葉を使ってしまうことを反省し、子どもの意思を尊重し、優しい眼差しで気持ちを受け入れようと徹底したら、子どもが穏やかに過ごせていることを実感した。簡単なことではないが日々努力したい。 ・フォークで刺しやすいくさや、ジャムをパンに塗るか、皿の隅に添えるかなど、どうやったら子どもが食べやすいか、調理員と相談しながらでき、子どももよく食べた。	